

## 令和2年度水力発電に係る人材育成のための研修会(東北地域)の 開催について<一般コース>

令和2年8月25日  
一般社団法人 電力土木技術協会

今般、経済産業省の展開する「令和2年度水力発電の導入促進のための事業費補助金(水力発電事業性評価等支援事業)のうち人材育成等を行う事業」に係る表記研修会を、一般財団法人新エネルギー財団から受託し、当協会が下記の要領で開催することとなりました。

研修は、基礎的で平易なものをベースに、ある程度実務面も重視しており、「地域活用電源の開発モデル」を一つの軸として行います。

座学研修 4 日間の日程で研修会を行いますので、水力開発に熱意や興味を有する方多数の参加を歓迎致します。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の予防措置として、所要の対策を講じて参りますので御協力をお願い致します。なお、開催地等における感染拡大の状況によっては、現地開催を中止します。その場合の代替として、オンライン形式による開催について現在検討中です。詳細は決定次第HPに掲載する予定です。

### 記

#### <一般コース実施要領>

日 時	令和2年 9月 28日 (月) 9:30~17:00 (座学研修) 29日 (火) 9:30~17:00 ( " ) 30日 (水) 9:30~17:00 ( " ) 令和2年 10月 1日 (木) 9:30~12:00 ( " )
場 所	(座学研修) 〒960-8053 福島県福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま 5階小研修室 TEL 024-525-4089 (公財)福島県産業振興センター 会場案内図 別紙1をご参照ください。
参加料	無料
対象者	・水力発電所の開発を予定する企業、団体等に属する者、若しくは個人 ・地方公共団体、公的支援・融資機関等で地域振興のツールとして興味のある者 ・その他、水力発電の開発に興味を有する者 (いずれも、水力発電に関する知識・経験は不問)
募集人員	30名 (応募者の総数が定員を上回った場合は、入場を制限する場合があります)
受付開始	令和2年 8月 25日(火)
応募期限	令和2年 9月 23日(水)
申込先	一般社団法人 電力土木技術協会 ホームページのニュース欄をご覧の上、申し込み欄に必要事項を記入して申し込みください。URL : <a href="http://jepoc.or.jp">http://jepoc.or.jp</a> なお、都合で4日間すべての研修に参加できない方であっても、部分的な参加は可能ですので、その旨備考欄にご記入ください。 (記入例:初日の研修は不参加、最終日の研修は不参加等)

## 留意事項

- ① 駐車場は主催者側では準備いたしません。
- ② 筆記用具、電卓及び定規を持参して下さい。
- ③ 昼食の用意はございません。
- ④ 服装は、通常の執務時に着用する服装で差支えありません。
- ⑤ 後日、研修の効果を定量的に把握するためのフォローアップ調査等をお願いすることがあります。

## ・研修の構成とカリキュラム

### (座学研修)

水力発電技術に関する一貫した基礎的知識をベースに、計画の策定ならびに事業性評価の概略が把握できるレベルを習得することを目指したもので、「地域活用電源の開発モデル」を一つの軸として研修を行います。

座学の第1日目は、初心者の方でも水力発電のしくみから、計画、関係法令まで一貫して理解できる基礎的な学習レベルに設定しています。

第2日目は、具体的な水力発電計画を作成する上で必要となる実務的な内容の教材を用いて、専門的な知識も会得できるレベルに設定しています。

第3日目は、水力開発のポイントや、総合的なQ&A、意見交換の場も用意しております。第4日目は、好事例と考えられる水力発電所の開発事例等を映像で紹介し、基礎研修の更なる理解増進を図ることとしています。

### (教材)

全国共通のテキストのほか、当該地域の特徴を考慮した付属テキストを配布します。

なお、本年度は「新型コロナウイルス感染症の予防措置」として、以下の対策を講じますので、協力方お願い致します。

- ① 体調に不安のある者の参加は認めない。
- ② 移動時において感染することを避けるよう配慮する。
- ③ 3つの密(密閉・密集・密接)対策(定員数削減等によるソーシャルディスタンスの確保)を図る。
- ④ マスクの着用を徹底する。
- ⑤ 手洗い、手指消毒を徹底する。
- ⑥ 検温し、37.5℃以上の方は入室を禁止する。
- ⑦ 会場における換気に努める。
- ⑧ 夜間の外出について、自粛することを要請する。

水力開発に係る人材育成のための研修会（一般コース：東北地域）時間割（案）

令和2年9月28日～10月1日 電力土木技術協会

時間帯	講義テーマ	内 容	講 師(所属)
<b>(第1日目)</b>			
9:30～9:40	オリエンテーション		電力土木技術協会
9:40～11:10	1. 水力発電概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電原理 ・計画, 評価</li> <li>・地形, 地質 ・環境保全</li> <li>・関係法令 ・設計 ・保守管理</li> <li>・小水力開発手法</li> </ul>	電力土木技術協会
11:20～15:20	2. 概略計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定手順 ・机上検討</li> <li>・現地踏査 ・最適規模の検討</li> <li>・演習</li> </ul>	電力土木技術協会
(12:00～13:00)	(昼休み)		
15:30～16:20	3. 環境保全(1)	・環境影響評価 ・環境保全対策	電力土木技術協会
16:20～17:00	同 上 (2)	・地域環境保全例	地元コンサルタント
<b>(第2日目)</b>			
9:30～10:50	4. 地形・地質	・基礎知識 ・地形・地質条件	電力土木技術協会
11:00～13:30	5. 関係法令・手続き	・電気事業法、河川法、森林法等	電力土木技術協会
(12:00～13:00)	(昼休み)		
13:40～14:30	6. 土木設備の設計	・取水ダム ・水路 ・水圧管路 他	電力土木技術協会
14:40～16:10	7. 水力発電に係る電気技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水車, 発電機, 保護装置等の概要</li> <li>・電力系統, 運用, 系統連系</li> </ul>	電機メーカー 電力土木技術協会
16:20～17:00	8. 開発事例(1)		地元電力会社
<b>(第3日目)</b>			
9:30～11:40	9. 事業性評価(1)	・工事費積算演習	電力土木技術協会
11:40～12:40	(昼休み)		
12:40～13:50	9. 事業性評価(2)	・事業性評価	電力土木技術協会
14:00～15:10	10. 運転・保守、主任技術者の実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転 ・維持管理 ・ダム水路, 電気</li> <li>主任技術者の実務</li> </ul>	電力土木技術協会 電力会社
15:10～15:50	8. 開発事例(2)		地元事業者等
16:00～17:00	11. 水力開発のポイント	・地域主体の開発モデル 他	電力土木技術協会
	質疑応答		全員
<b>(第4日目)</b>			
9:30～12:00	12. 事例の紹介		電力土木技術協会

(注) 講師、時間割は都合により変更する場合があります。

## 会場案内図



### 交通案内

- JR福島駅(東北新幹線、東北本線、奥羽本線)西口より徒歩 3 分
- 東北自動車道 福島西 IC、飯坂 IC から車で約 15 分

#### (お問い合わせ先)

〒105-0011 東京都港区芝公園 2 丁目 8-2 小貝ビル 4F  
一般社団法人電力土木技術協会  
電話 03-3432-8905  
FAX 03-3435-1778  
URL <http://jepoc.or.jp>  
担当：人材育成研修 担当

F A Xの送付先 03-3435-1778

一般社団法人 電力土木技術協会 宛

水力発電に係る人材育成のための一般コース研修会（東北地域）申込書

令和2年 月 日

電力土木技術協会会員・非会員	会員・非会員
氏名（漢字）	
氏名(カタカナ)	
会社名	
所属	
郵便番号	
住所	
電話番号	
E-M a i l	
生年月日(保険加入の為)	昭和・平成 年 月 日
性別(保険加入の為)	男性 ・ 女性
備 考	

－ 以 上 －